

2023年度 環境指標WG 活動報告(案)

活動方針 及び テーマ	<p><活動方針> WPRC製品の普及拡大を目的とし、WPRC部会と連携を図りながら、調査・情報収集やアカデミックな視点によるディスカッションを基に、各分科会への提言や支援を行う。</p> <p><テーマ> 木材・プラスチック再生複合材部会 環境指標WG</p>
メンバー (敬称略)	<p>リーダー : 塩見綾里(京都府立大学大学院)</p> <p>サブリーダー : 片岡洋哉(京都府立大学)</p> <p>メンバー : 石原智佳(岐阜県生活技術研究所)</p> <p>神代圭輔(京都府立大学大学院)</p> <p>淵上佑樹(三重大学大学院)</p> <p>アドバイザー : 古田裕三(京都府立大学大学院)</p> <p>事務局 : 深川英樹(WPRC部会・建産協事務局)、中沢卓司(WPRC部会・部会事務局)</p> <p>オブザーバー : 勝間田実(WPRC部会・普及広報分科会)</p> <p>: 渡邊 厚(WPRC部会・標準化分科会)</p> <p style="text-align: right;">計10名</p>

活動 テーマ	テーマ内容	活動内容
普及広報 分科会 支援	WPRC多回(水平)リサイクル実現 に向けた支援	<p>【目的】 WPRC多回(水平)リサイクル実現を目的とし、そのために必要な調査、課題抽出を行う。</p> <p>【概要】 ・多回(水平)リサイクル異業種事例調査し、調査結果を基に資料を作成する。 ・エコリーフ・PCRを説明するHP用コンテンツの作成およびWPRCの環境性能の「多回リサイクルの効果」について記載 ・標準化分科会支援のCO2削減効果数値を基に修正を行う。</p> <p>【活動状況】 2023年12月 花王(株)様 ヒアリング 2023年12月 YKKAP(株)様 ヒアリング 2024年3月 ヒアリング結果の取りまとめを実施</p>
標準化 分科会 支援	WPRC多回(水平)リサイクル実現 に向けた支援	<p>【目的】 エコリーフ・PCRを基に、WPRC多回(水平)リサイクルによるCO2削減効果の数値化を目的とし、検討を行う。</p> <p>【概要】 ・エコリーフ・PCRを基にWPRC多回(水平)リサイクルによるCO2削減効果の数値化検討</p> <p>【活動状況】 2023年4月 エコリーフ環境ラベル取得に際して行われた説明会の後方支援を実施 2023年9月 オンライン打ち合わせ(木材・プラスチック複合材のPCRについて) 2024年1月 東京大学清家先生からの木材・プラスチック複合材のPCRに関するヒアリングへの対応 2024年2月 対面打ち合わせ(今年度の活動(ウェブ情報の更新、WPRCの原単位の提案)について) 年間 多回リサイクルがCO2排出量に及ぼす影響についての検討</p>
独自 テーマ1	WPRCの認知度向上に向けた取 り組み	<p>【目的】 WPRCに対する認知度を高めることを目的とし、WPRC部会HPの充実やメールマガジンの配信を通じた各都道府県の行政機関へのWPRCに関する情報発信を行う。</p> <p>【概要】 ・配信先がイメージしやすいように、部会を通じ各企業の施工例や活動について取材を行い、取材内容を元にメールマガジンの配信を行う。 ・引き続き、Wikipediaについては更新を行い、内容を充実させる。</p> <p>【活動状況】 2024年1月 第1回メールマガジン配信 2024年3月 Wikipedia更新</p>
独自 テーマ2	客観的な視点からのWPRCの特 徴の整理	<p>【目的】 WPRCのPRポイントを客観的に評価することを目的とし、そのために必要な調査を行う。</p> <p>【概要】 ・他のエコ素材を調査し、そのPRポイントを洗い出す。 ・洗い出したその他のエコ素材のPRポイントと、WPRCのPRポイントの比較・検討を行い、整理する。</p> <p>【活動状況】 2023年12月 アップサイクル展での情報収集 2023年12月 エコプロダクツ展での情報収集 2024年3月 収集した情報の取りまとめを実施</p>